

くはらう

議会だより

のた



おもな  
内容

第7回定例会（令和7年3月）など  
村政を問う（一般質問）…… p5～p9  
かんばる野田っ子…… p12

野田中学校「3年生を送る会」は2月27日、同校体育館で開かれました。  
3年生は最後の演奏になる創作太鼓を心をこめて披露しました。  
(写真提供：野田中学校)

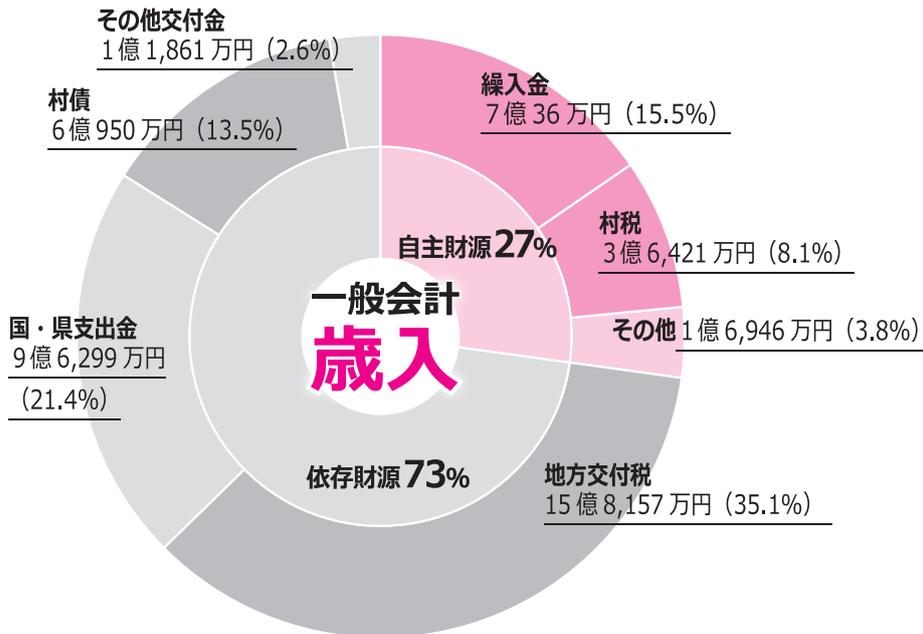
2025  
4/30  
第171号

# 一般会計45億670万円

3月  
定例会

# 決まる

第7回野田村議会定例会が3月5日から14日までの10日間を会期として開催されました。  
本定例会では、骨格予算※となる一般会計・特別会計、公営企業会計の令和7年度当初予算のほか、令和6年度の補正予算、条例改正などの議案が提出され、審議しました。今後は肉付け予算※を含めた補正予算を6月定例会に提案予定です。



## 補正予算

令和6年度  
一般会計予算  
1億8950万円減

一般会計では、歳入歳出予算それぞれ1億8950万4000円を減額し、総額を70億5483万円としました。  
歳出のおもなものは、がんばるのだ応援基金積立金、保育所運営委託費および村債管理基金積立金等に要する経費、一般職給与費等の人件費となっています。

※骨格予算…首長選挙時等、政策的判断が難しい等の事由により、義務的経費等必要最小限の経費を計上する予算編成。  
※肉付け予算…政策的判断が難しい等の事由の解消後、政策的経費や新規事業等を加える補正予算。

## 新村長所信表明

初当選した小野寺勝幸村長は5日、所信表明演説を行い、村政推進の方向性を中心に所信を述べた。その一部をお知らせします。



村民のみなさまからご信任をたまわり、第17代野田村長として村政を担うこととなった。改めて村民の代表としての責任の重さを感じており、身の引きしまる思いで、さらなる村の発展に決意を新たにしました。これからも村民目線で村民感覚を忘れず、安心して生きがいをもってくださる村の発展に貢献できるように、全力で職務を全うすると強く決意しました。

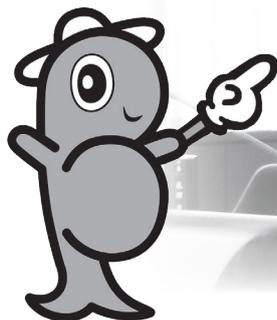
【方向性】①産業振興  
②安心で住みよい地域づくり  
③財政運営・組織の改善

- ・国勢調査 5年ごとの人口統計。調査員らによる調査・審査をする。
- ・野田村復興基盤統合GISシステム更新事業 GISとは、電子地図上にさまざまな情報を重ねたもの。編集可能で全庁で活用している。同システムの更新。
- ・特別保育事業 新たに病児（病後児）保育事業、一時預かり事業を追加。
- ・交流物産等複合施設開業支援事業 交流物産等複合施設の開業に係る必要経費を支援。

## 令和7年度 新規事業

●ソフト事業●

# 令和7年度当初予算



# 骨格予算



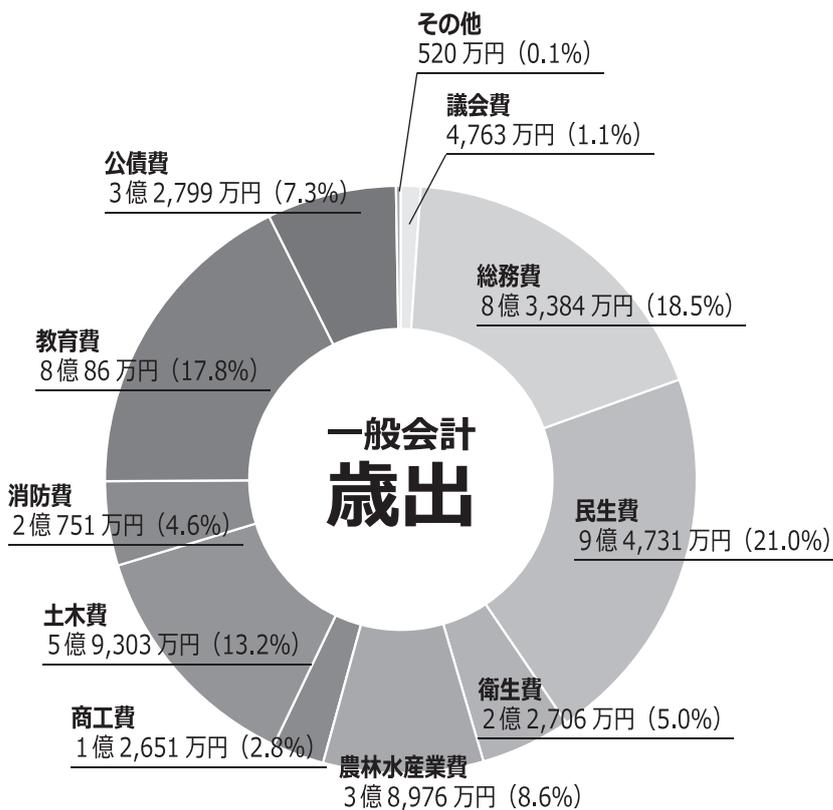
## 野田小学校整備事業 4億7,993万円

令和7年、2学期開校を目指す。



## 交流物産等複合施設開業支援事業 584万円

イベント費用などの必要経費。  
6月ごろオープン予定。



特別会計予算	国民健康保険事業	4億8,850万円
	後期高齢者医療	5,492万円
	国民宿舎事業	2,034万円

(収益的支出) 公営企業会計	簡易水道事業	1億3,971万円
	下水道事業	3億209万円

※各数値は四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。

## 令和7年度 新規事業

### ●ハード事業●

- ・門前小路第2団地改修事業  
耐久性向上のため、3棟6戸の屋根および外壁を塗装する。
- ・上明内住宅改修事業  
居住性向上のため、1戸を断熱改修する。
- ・前田小路住宅新築事業  
居住環境の確保のため、2戸を設計する。

# 城内公葬地に 合葬墓設置

令和6年6月定例会などで審議していた、村営の合葬墓が設置されました。目的は、墓地管理の多様化に対応するためです。

## 【受付開始】

令和7年4月1日から。

## 【使用資格】

納骨される人が、申し込みまでに、村内に本籍または住所を有していたことがあること。

## 【生前予約】

以下の条件を満たせば、自身の焼骨を合葬墓に納骨することを予約できます。

- 1) 村内に本籍または住所を有している、または有していたことがある。
- 2) 自身の焼骨を納骨する祭し者※が決まっていること。

## 【使用料】

焼骨1体につき25,000円。

(以降、使用料などはかかりません)

※祭し者…納骨を行う人。



## 【申請から納骨までの流れ】

役場で申請



使用許可証交付・使用料納付



納骨日の決定



納骨

- 役場職員の立会いが必要。
- 焼骨のみ納骨。
- 骨壺などは受け取りません。

【申請・相談】 平日 8:30 ~ 17:15  
担当課 ▶ 住民生活課 住まい・環境班  
電話 0194-78-2927



## 議会傍聴できます！

村議会定例会は、3月・6月・9月・12月に開かれます。  
傍聴の手続きは、受付簿に必要事項を記入するだけなのでとても簡単です。  
村の将来やあり方についての議論を直接聞くことができます。皆様の傍聴をお待ちしております。

次の定例会は 6月です



# 村政を問う

議員 **4** 人が登壇

- 一般質問は、村の行政事務全般（一般事務）に関し、原則定例会で村の所見や疑義を質問できます。
- 質問時間は、1人60分までで、1つの質問に3回まで質問できます。

質問議員（質問順）	質問事項	掲載ページ
たんのかずこ 丹野和子	1 地震・津波避難訓練について 2 野田村公式LINE登録とタブレットの使い方習得について 【教育行政方針演述について】	6
なかがわのぼる 中川昇	1 子ども・若者「ご意見箱」の設置について 2 5歳児健診の実施について 3 ドローンの活用について 4 災害用の物資や機材の備蓄状況について	7
やまだようこ 山田陽子	1 小野寺村長の村づくりについて 2 高齢者等安否確認事業について 3 健康寿命の延伸対策について 4 高齢者の保健事業と介護予防について 5 給食費について 6 県立翔北高校野田校舎の支援について 7 冬の防災対策について 8 野田村史について 【村長所信表明演述について】 【教育行政方針演述について】	8
まいたどくいちろう 米田徳一郎	1 漁業振興について 2 農業振興について 3 地場産品を活用した商品開発支援について 4 街のにぎわいづくり支援について 5 子育て世帯支援施策の充実と、若者の定住促進について 6 村有財産の有効活用について 【教育行政方針演述について】	9

# 要支援者等の安全な避難方法の周知を

## 村長 地域ぐるみの避難を進める



丹野 和子 議員

**問** 自動車での避難が多い実情から、ルール・方法などを村民に周知する必要はないか。

**村長** 本村や国・県でも「避難手段は、原則として徒歩によるもの」とし、地域の実情をふまえ、やむなく自動車での避難しなければならぬときは、避難者が自動車で安全かつ確実に避難するため、の方法をあらかじめ検討するとしている。まずは地域の実情に応じた避難方法などを話し合っていたいただき、村もそれに対して支援したい。

**問** 要支援者の個別避難計画はどれくらいできていますか。また、避難のため村はどう取り組むのか。

**村長** 令和7年2月現在の個別避難計画の作成者数は54名である。地域ぐるみの避難を進めるため、地域の実情を知る自主防災

組織等と連携しながら取り組み、新たな組織の立ち上げにも支援したい。

**問** 災害用備蓄食料品等は、どれくらいあるか。

**村長** 本村では食料、飲料水など500人の避難者が3日間避難所で生活できる量を備蓄している。

**問** 各避難所の収容人数、期間はどうか。

**村長** 間仕切りは約400人分、簡易トイレも3日間分備蓄している。これからも補助金等を活用しつつ必要な備蓄品を整備していく。指定避難所の最大収容人数は700人で、災害の危険性がなくなるまでは



昨年12月の防災訓練

避難可能である。

村公式LINE登録とタブレットの使い方

**問** 村公式LINE登録とタブレットの使い方の使い方は、質問者への分かりやすい説明と、操作をしっかりと覚えるには長期間にわたる練習が必要となるため、説明会等が必要ではないか。

**村長** タブレットは慣れってもらうことが重要。役場内の相談場所を分かりやすい表示にするなど、相談しやすい環境を作るとともに、再度の説明会も必要に応じて検討する。そのほか、村公式LINE以外での情報発信は、防災無線の個別受信機も含め、状況に合わせたさまざまな方法を検討する。

【その他の質問】  
○教育行政方針演述の学校教育の充実について



# 目指す村づくりは

村長 安心して生きがいをもって暮らせる村へ発展させる



山田 陽子 議員

**問** 村長は2月の公開討論会で「村民の声を大切に、声なき声に耳をかたむける」と表明しているが、具体的にどう進めるのか。

**村長** 村民目線で村民感覚を忘れることなく、安心して生きがいをもって暮らせる村への発展に貢献できるように進めていく。具体的には、少人数での懇談会の開催や戸別訪問での聞き取りなど、方法などを検討し進めていきたい。

**再質問** 住民の村へ対する関心度を高めるためにも、懇談会のあり方、若い世代や子育て世代の参加を増やす工夫が必要。スポーツ団体をはじめ、さまざまな活動団体の声を聴くことも一つの方法ではないか。

**村長** 「声なき声」を把握するため、例えば、ば年代・性別を限定し、少人数で話しやすい雰囲気をもった懇談会を開催する、あるいは保健師等が戸別訪問時に、健康面だけでなく、ほかの困り事を聞いたら関係課等へ情報をつなぐなど、これまで行ってきたことでも、改めて住民の声を聴くように努めていきたい。

高齢者の安否確認は

**問** のんちゃんネット事業が終了したため「のんちゃんペンダント」も終了した。今後の安否確認対応は。

**村長** ペンダント利用者らへ、これまでも行っている電話で安否確認をする「高齢者等安否確認事業」へ移行をすすめている。

**再質問** タブレット等を使ったLINE電話で安否確認できるように体制を整備すべき。

**村長** 委託先の「労働者ター事業団の地域福祉事業所あづび」でLINE電話での安否確認もできるような方向で進めている。

ポイントカード事業の拡大を

**問** 健康維持のため積極的に運動している高齢者も対象に、パークゴルフやe・スポ広場などにも、ポイントカード事業を拡大する考えは。

**村長** 各部署で調整を要する課題もあるため、全庁的な取り組みの可能性を検討していきたい。

高齢者の保健事業と介護予防  
今後の課題は

**問** 今年度初めて、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に開始したが、新年度に向けての課題や取り組みは。

**村長** 後期高齢者を対象と健康寿命の延伸に努めることを目的としており、地域包括支援センターを中心に取り組んでいる。内容に「高齢者に対する個別的支援」と「通いの場等への積極的な関与」と大きく2つの項目がある。

今後の取り組みや課題は、医療専門職の確保、地域包括支援センターの周知不足、健診の未受診者の医療費が高額であること、健診受診率がコロナ禍後に低迷していることなどが挙げられるが、健康づくりの普及啓発とともに事業を継続する。



十府ヶ浦パークゴルフ場

給食費無償化の可能性は

**問** 新年度の給食費は、現行の物価高騰分の補助だけか。村長は無償化をどう考えるか。

**村長** 新年度はこれまでと同様に物価高騰分の支援を行う。令和8年度から無償化の実施を目指し検討していく。

県立久慈翔北高校  
今後の支援は

**問** 久慈工業高校は久慈東高校と統合され、4月から久慈翔北高校野田校舎になるが、給食の副食提供の継続と今後の支援は。

**村長** 給食はこれまで同様提供していく。また、「守り育てる会」による各支援も引き続き同様の支援をしていく。

【その他の質問】

- 冬の防災対策について
- 野田村史について
- 所信表明演述の村の教育について
- 教育行政方針演述の特別支援教育の推進について



米田 徳一郎 議員

課題が多い中での村長就任

# 具体的な政策を伺う

## 村長 関係機関と連携して取り組みたい



下安家漁港

### 漁業振興

**問** 養殖漁業の振興、新品目の導入、増養殖推進の具体策は。

### 村長

現状では、貝毒の慢性的な発生、サケ資源の減少、磯資源の低位での推移など、漁業者を取り巻く状況は大変厳しいものと認識している。他地域で取り組まれているウニの陸上養殖やサーモンの海面養殖、アサリ等の新品目への取り組みを参考に、まず漁業者、漁協、関係機関と意見交換して現場の声を伺い、課題や意向を把握したうえで有効な支援を模索したい。

### 農業振興

**問** 担い手農業者の育成、定年後参入者

の支援、地産地消の推進内容は。

### 村長

村は、担い手確保のため新規就農者の活動や、資機材の導入に係る支援のほか、農作業の効率化・省力化を図るなどの営農支援をしてきた。このほか、国の農業次世代人材投資事業や地域おこし協力隊制度を活用し、担い手確保に取り組んでいる。引き続き関係機関と連携し、農業振興に取り組みたい。また、地産地消の推進は、新たに整備される交流物産等複合施設の村内外の利用者に広くPRしつつ、出品者の所得向上が図られるよう関係機関と連携を深め、戦略的に取り組みたい。

### 地場産品を活用した商品開発支援

**問** 想定される地場産品と事業主体、商品開発支援の内容は。

### 村長

本村の地場産品は「のだ塩」「荒海ホタテ」「南部福来豚」「山ぶどう」などが魅力ある特産品と認識している。一次産業の基本ともいえ

る地場産品を活用した商品開発は、産業の底上げにもつながることから、適時適切な支援が必要。今後、生産者、販売者、村が知恵を出し合い、本村にふさわしい具体策を協議したい。

### 街のにぎわいづくり支援

**問** 空き地、空き店舗等の活用対策で想定される事業主体・内容支援策は。

### 村長

「街のにぎわい」を創出する一環として、中心商業地域ならではのコミュニティやイベントの開催が必要などから、村商工会が主催する「野田村プチよ市」や村観光協会の各種イベントなど、関係機関や事業者とともに、にぎわいをもたらすために連携し取り組みたい。



本町通り

子育て世帯支援施策の充実と若者定住促進

**問** さらに子育て支援をどう取り組むか。また、若者の定住促進事業の内容は。

### 村長

近年、子育てに優しい村という認識が広まり、子育て支援策の充実を理由に転入する方も見られる。若者の定住促進については、村の子育て支援策や子育て環境をまとめた冊子を首都圏等で行われる移住相談会などで配布し、PRに努めている。また、転入者に対し、住宅の建築購入補助のほか、賃貸住宅の家賃を補助する制度を設けるなど、複数の施策を組み合わせることで一定の成果につながっていると認識している。定住促進は、一朝一夕に達成できるものではないと考えている。子育て支援交流人口の拡大、産業振興策など、長期的な視点で進めていきたい。

### 【その他の質問】

- 村有財産の有効活用について
- 教育行政方針演述の小中学校の老朽化に伴う改修について

# 議案一覧

## 第6回臨時会 1月8日

番 号	議 案 名	議決結果
議案第1号	令和6年度野田村一般会計補正予算(第8号)	可決(賛成全員)

## 第7回臨時会 2月6日

番 号	議 案 名	議決結果
議案第1号	令和6年度野田村一般会計補正予算(第9号)	可決 (賛成全員)
議案第2号	令和6年度野田村国民宿舎事業特別会計補正予算(第2号)	
議案第3号	財産の取得に関し議決を求めることについて	
議案第4号	財産の取得に関し議決を求めることについて	

## 第7回定例会 3月5日～14日

番 号	議 案 名	議決結果
議案第1号	令和6年度野田村一般会計補正予算(第10号)	可決 (賛成全員)
議案第2号	令和6年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
議案第3号	令和6年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
議案第4号	令和6年度野田村簡易水道事業会計補正予算(第3号)	
議案第5号	令和6年度野田村下水道事業会計補正予算(第3号)	
議案第6号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
議案第7号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	
議案第8号	一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	
議案第9号	公共施設等整備基金条例の一部を改正する条例	
議案第10号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第11号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第12号	地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第13号	野田村墓地条例の一部を改正する条例	
議案第14号	簡易水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例	
議案第15号	財産の貸付けに関し議決を求めることについて	
議案第16号	6災16号下安家漁港(導流堤)災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	
議案第17号	野田村固定資産評価審査委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて	同意 (賛成全員)
議案第18号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意 (賛成全員)
議案第19号	令和7年度野田村一般会計予算	可決 (賛成全員)
議案第20号～ 第24号	令和7年度野田村各特別会計・各公営企業会計予算	
議案第25号	財産の取得に関し議決を求めることについて	
議案第26号	農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	同意(賛成全員)
発議案第1号	野田村議会の議決すべき事件を定める条例	可決(賛成全員)

## 第8回臨時会 3月21日

番 号	議 案 名	議決結果
議案第1号	副村長の選任に関し同意を求めることについて	同意(賛成全員)

※議長は採決に加わらない

# おもな議会の動き

● 1月 ●		(案内議員)
5日	野田村消防出初式	全議員
6日	野田村新年興隆会	全議員
8日	第6回野田村議会臨時会	全議員
12日	野田村二十歳のつどい	全議員
15日	小正月行事	議長
15日	岩手県建設業協会久慈支部新年交賀会	議長
19～21日	村政調査会・管外研修視察(広島県方面)	全議員
26日	式又文雄氏叙勲受章祝賀会	議長
27日	交流人口拡大に向けた三陸沿岸地域連携シンポジウム・意見交換会	議長
27日	野田・普代岩友会第28回定時総会	議長
● 2月 ●		
5日	久慈地区市町村議会連絡協議会研修会(洋野町)	全議員
6日	第7回野田村議会臨時会	全議員
8日	野田村生涯学習大会	全議員
13～14日	北部地区町村議会議長会正副議長及び事務局長合同会議(盛岡市)	議長・副議長
14日	岩手県町村議会議長会定期総会(盛岡市)	議長
14日	議員報酬の見直しに係る情報交換会(盛岡市)	議長・副議長
20日	村政調査会	全議員
28日	議会運営委員会・議員全員協議会	全議員
● 3月 ●		
1日	県立久慈工業高等学校卒業式	全議員
5～14日	第7回野田村議会定例会	全議員
13日	野田中学校卒業式	全議員
15日	野田小学校卒業式	全議員
18日	岩手県立久慈工業高等学校を守り育てる会総会	議長
21日	第8回臨時会	全議員
26日	令和6年度消防表彰等受章祝賀会	議長 など



久慈地区市町村議会連絡協議会研修会(2月5日)



管外研修視察  
原田芸術文化交流館やまそら  
旧 原田中学校  
広島県尾道市  
(1月19日)



議会運営委員会(2月28日)

管外研修視察  
玖島花咲く館  
旧 玖島小学校  
広島県廿日市市  
(1月20日)





## 全国大会で優勝するぞ!



### ☆村へ～ 子ども達からの声☆

- ★ぜひエアコンをつけてほしい。
- ★広い道場がほしい。

野田村議会広報編集委員会は2月21日、野田中学校道場で柔道の稽古中のみなさんにお話を伺いました。

道場生は小学1年生から中学3年生までの39名。広い道場は指導の先生方も入ると、せまく感じるほどです。火・水・金曜日は野田中道場で稽古、土曜日は外で活動することもあります。

2月の県スポーツ少年団柔道大会では団体戦で準優勝。7月に開かれる東北大会に出場します。

子ども達からは、「全国大会優勝」「オリンピック選手」「東北大会ベスト4」「先生に勝ちたい」「みんなでプールに行きたい」「花火大会をしたい」など、いろいろな夢や目標を聞くことができました。各大会で好成绩のみなさん、ケガに気をつけて稽古に励んでください。

## 議会だよりクイズ

### 問題

合葬墓が設置されたのはどこの公葬地？

- ① 城内
- ② 野田
- ③ 玉川



◀こちらからも応募できます！  
村ホームページ「議会だよりのだ」につながります。  
スマートフォン等のカメラ機能で読み取ってください。

【前号の答え】 ② 13件

【当選者】 小野寺健二さん、大沢悠斗さん、長島葉子さん  
※広報編集委員会が抽選し決定しました。たくさんのご意見、ご応募ありがとうございました。

正解者の中から抽選で3名の方に「野田村共通商品券」をプレゼント!

【応募方法】 村ホームページ「議会だよりのだ」応募フォームやはがきに答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は1人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

【応募先】 〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14、野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで。

【締め切り】 6月25日消印有効。

【当選発表】 次回号で当選者(特に断りが無い限り氏名)を発表します。

### あとがき

新年度がスタートして1か月が過ぎました。真新しい色とりどりのランドセルと黄色い帽子姿の小学一年生がとてかわいく、「がんばって」と心の中で応援しています。そう思いながら、元気をもらっているのは私のほうだと気づき、笑みがこぼれてしまいます。子どもの見守りと安全確認を意識して交通ルールを守っていきましょう。

さて野田村も、新村長が誕生し心機一転の船出となりました。

私たちが取り巻く生活環境は大きく変わってきています。より良い暮らしのため、私たち議会の果たす役割は重要です。新年度もよろしくお願いたします。

山田陽子

発行責任者	議長	米田忠一
広報編集委員長	副委員長	委員
前田川	中山川	中川
安田	大昇	徳一郎
安子	昇和	一郎